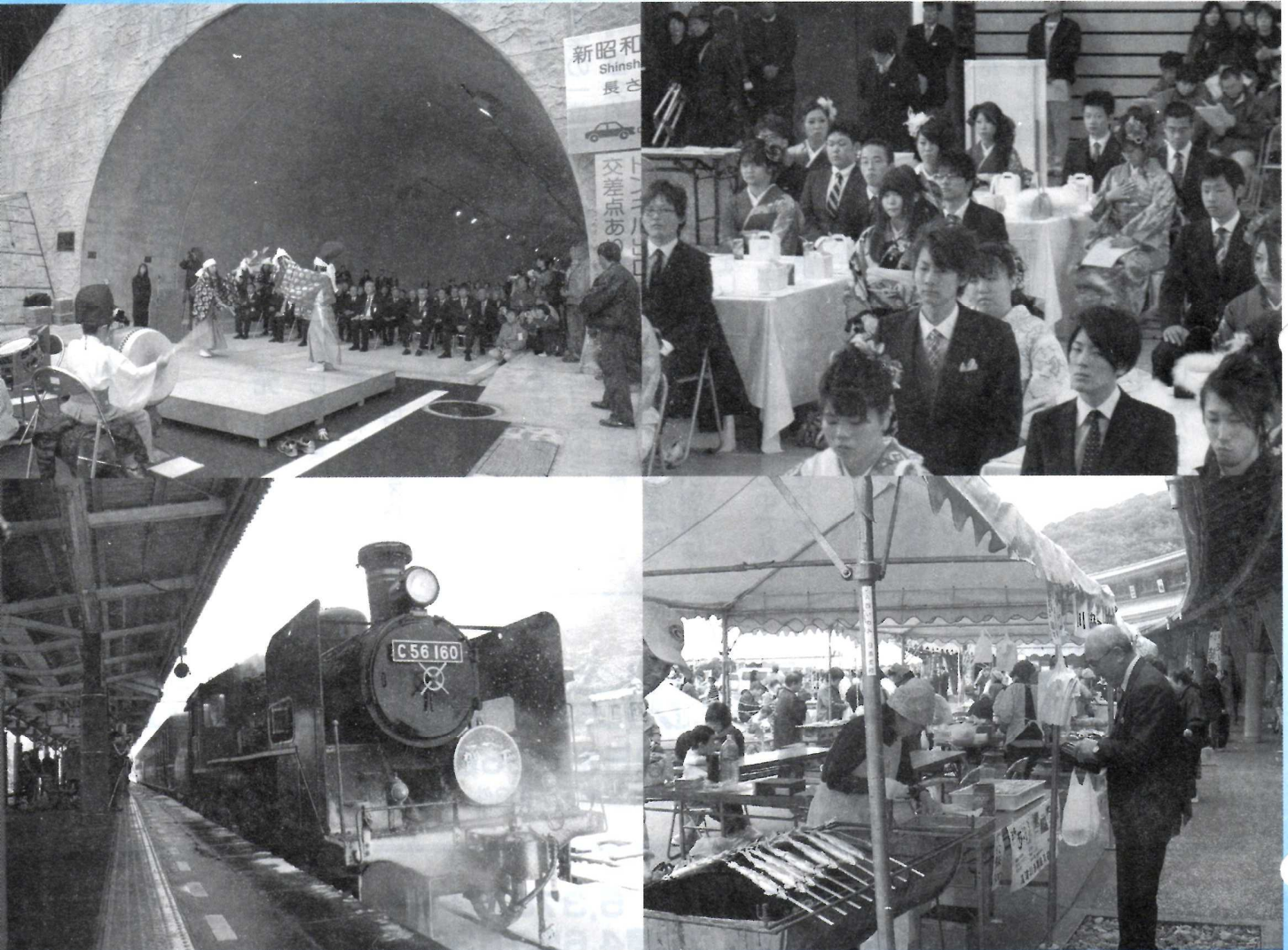




つわの

12月定例会

議会だより



上段左 新昭和トンネル開通式
(平成22年12月23日)

下段左 平成23年元旦 S L 稲成号

上段右 平成23年成人式 日原小学校体育館
(平成23年1月3日)

下段右 シルクウェイにちはら収穫祭
(平成22年10月30・31日)

今月の注目！

議長新年あいさつ・補正予算 2p

条例改正（水道料金の統一が決まる！） 3p

一般質問（14名） 4p～10p

請願（T P P 交渉参加反対意見書採択！） 11p

所管事務調査報告・編集後記 12p

No.21 (2011)

平成23年1月20日発行
島根県津和野町議会
Tel 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp



新春を迎えて

津和野町議会
議長 滝 元 三 郎

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、新春をお健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は私も議会に一方ならぬご指導、ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

昨年の世相を現す漢字の一位は「暑」という字でした。歴史的な酷暑の中で、国の内外とも総じて暗い話題が多かったようです。

わが津和野町でも、米を始め柿、栗等の農作物の不作、品質低下、そして七月の豪雨により多くの被害をもたらしました。また、残念ながら国勢調査の結果、人口減少率が県下で最高となりました。

国の内外でも、尖閣諸島の事件、朝鮮半島の緊張、普天間基地移転や政治と金の問題に端を発した首相の交代など、きわめて憂慮されることの多い一年であったと思います。

今年はなんとしてでも、明るい年にしたいものです。昨年は議会

改選がございました。若い力が導入され体制が一新されました。下森町政は二年目を迎えられる、下森カラーを余すところなく発揮できることと大いに期待をしているところです。

若者の定住対策は、最も重要な課題の一つですが、そのためには、働く場を確保し、地域医療を守らなければなりません。そのほか、取り組みなければならぬ課題は山積をしております。

そして、地域主権改革の中で私も議会の役割、責任はきわめて重大になってまいります。

皆様の声を、お気持ちをしっかりと受け止めて、議会本来の役割を果たすべく、渾身の力で進んでまいります。新春にあたり決意を新たにしているところでございます。

最後に皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成22年

第7回(12月)定例会が開催された

会期 12月17日から12月22日までの6日間

一般質問が行われ、平成22年度補正予算8件、条例案件3件、請願2件などを審議した。

★補正予算の概要

補正予算額 5,378万9千円
一般会計総額 79億4,659万3千円

歳入

1) 地方交付税	6,500万円
2) 国庫支出金	615万5千円
3) 県支出金	1,237万8千円
4) 財産収入	1,063万5千円
5) 町 債	▲3,340万円

主な補正項目

歳出

1) マイクロバス購入費	744万1千円
2) 県選挙準備費	400万5千円
3) 県営林道負担金	961万円
4) 駅前花壇工事費	369万1千円
5) 消防センター外構工事請負費	912万円

★特 別 会 計

国民健康保険 2,274万2千円増額 **11億6,300万8千円**
主な歳出 予備費 1,812万2千円

後期高齢者医療 962万9千円減額 **2億8,164万7千円**
主な歳出 療養給付費負担金 ▲855万5千円

簡易水道事業 28万2千円減額 **3億207万円**
主な歳出 空調整備取り止め ▲119万3千円

電気通信事業 584万4千円減額 **2億8,832万1千円**
主な歳出 公用車購入 140万円

病院事業会計 130万4千円増額 **7億2,780万7千円**
主な歳出 地方消費税 74万6千円

介護保険 277万7千円増額 **12億3,441万6千円**
主な歳出 自動火災報知設置 130万円

12月定例会に提出された議案と結果

	○=賛成 ×=反対 △=欠席	京村	村上	板垣	竹内	道信	岡田	三浦	青木	斎藤	河田	川田	小松	米澤	後山	沖田	結果
規約・条例	発熱外来施設の設置及び管理に関する条例の制定 新型インフルエンザの発熱患者に対し医療を提供する発熱外来施設を石西社跡地に設置するため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	可決
	町立学校設置条例の一部改正 須川小学校の廃校に伴うもの	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	可決
	益田地区広域市町村圏事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	可決
	鹿足郡環境衛生組合規約の変更 吉賀町のCATV放送開始に伴い、有線ビジョン放送施設の設置、管理及び運営に関する事務を同組合で処理するため、鹿足郡事務組合とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	可決
	簡易水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	可決
	過疎地域自立促進計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	可決
補正予算	一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	簡易水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	電気通信事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願	木曽野向線町道の舗装工事	経済常任委員会に付託															
	医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める	○	△	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	採択
	意見書	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
意見書	医療費の窓口負担軽減に関する意見書	○	△	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	採択
	医療費の窓口負担軽減に関する意見書	○	△	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	採択
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求める 津和野町日原 清水留美子氏																適任

発熱外来施設の設置及び管理に関する条例制定

討論

反対討論

小松 議員
なぜ石西社跡地になったのか、納得できない。

町立学校設置条例の一部改正
討論

反対討論

京村 議員
受入側のPTAにまだ学校再編成計画の説明がなされていない。町の教育ビジョン策定後でも良いのではないか。

医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願
質疑

質問

河田 議員
財源は、どこからもってくるのか。

説明

竹内 議員
国の財源で行う。

一般質問

健やかな育ちとは…………



三浦 英治 議員

◎CATV(28)ch・キッズステーションの悪影響は

三浦 24時間アニメーションが放映されているが、子どもたちへの影響を大変危惧している。23年4月から吉賀町と共同運営が始まるが内容の精査はされるのか。

町長 家庭によっては長時間テレビを見続ける子ども達がいる事は聞いている。放送法に基づく番組審議会において、番組内容や運営のあり方を審議することが義務付けられているが、現在までにこのチャンネルに関して、否定的な意見は伺っていない。次期番組審議会において意見を伺ってみたい。

また、現在ではインターネットをはじめ情報を取り込む手段は多岐にわたっており、基本的には家庭内での自主的な対応を優先すべきだと考えている。

現在のアナログ放送の場合、テレビの設定等により28chを映らなくする方法もあり

ますので、ケーブルセンターに相談していただければ対応も可能である。

三浦 健全育成、学力向上の観点からどのように考えるか。

教育長 教員の中にも子どもたちの自宅学習に影響があるのではないかと懸念する方もいるが、家庭内まで立ち入った指導は困難な状況である。各家庭での保護者の指導に頼るところが大きく、今後保護者との連携により啓発に努めたい。

三浦 平成18年におよそ60年ぶりに教育基本法が改正された。教育基本法第10条に「家庭教育」の条項が新たに設けられた。何故、今、家庭教育なのでしよう。来年4月からは吉賀町に配信が始まる。不幸な家庭が増えないことを祈って質問を終わる。

(その他の質問)

景観条例の充実と青少年育成協議会の整備を求める。

米粉パンホームベーカリー購入に補助金を



斎藤 和巳 議員

◎米粉パン製造器

斎藤 在庫米が大変多い中、米消費と農家を守るためにも安心安全な国産米、町内米の消費の大きなエネルギーになる。米100%の米粉パンホームベーカリーに町独自の購入補助金を支給する事を提案する。

町長 提案の通り、国産米の消費拡大に繋がるなら、町内米の消費拡大に繋がる方策と合わせて、地産地消を推進する具体策の一つにもなり得ると期待している。購入者の意見等研究をし、その結果を分析しながら検討していく。

◎農業問題

斎藤 今年のような米価格だと水稲農家はやっていけない。その上TPPへ参加することになると農業は壊滅することになる。地域を守る為、当町としての様な策をするのか、又昨年の質問の中での中堅農家対策はどの様になっているのか。

町長 米価の下落を受けて全

国的に農地の集積契約を打ち切る中核農家ができていく。大規模な水稲農家ほど損失が拡大する形になっている。

TPP加入については、農業生産額減少と水田の多面的機能等計算すると計り知れない損失が予想される。町としても反対の立場から加入しないよう政府関係者に陳情すると共に県、国へ対して要請活動をしている。町としては農林業は本町の定住を支える基幹産業との原点に立ち返り、23年度の重点施策として、地産地消、地産都消を強力に推進したいと思っている。

中堅農家対策については、水田協と連携して認定農業者へ誘導する様検討したい。又個別に意見要望を聞き、経営規模にかかわらず意欲ある農業者確保の為、農政の展開方向及び農業施策の動向を注視しながら要望状況を踏まえ、中堅農家対策を検討していきたい。

一般質問

城跡修復、ドクターヘリ、叙勲者への祝電他1件



米澤 宏文 議員

◎日本100名城津和野城跡修復

米澤 平成9年の地震で崩れた石垣はシートと金網で覆われ無残な状況。(1)23年度以降の津和野城跡保存管理計画策定の概要。(2)石垣修復用道路を喜時雨から本丸と出丸間に取付け広場を駐車場としトイレを設置しては。(3)石垣の間の小さい樹木の除去の徹底を。

町長 (1)計画策定から7年経過し状況が変化、文化庁から計画見直しの指導有り。(2)基本計画で喜時雨から広場へ工事道検討、観光管理道として残すのは専門家の意見で判断し、トイレ設置は長年の懸案、具体的に検討する。(3)石垣間の樹木除去は慎重に検討する。

◎ドクターヘリ活用とヘリポート

米澤 県防災ヘリは現在医師同乗で転院搬送等をしているが、救急指定病院でない津和野共存病院には飛来しない、指定病院でなくても専門治療が必要な重傷、重篤患者は発生する、県に要請されたか。

町長 県に津和野共存病院が対象となるよう要請を検討中。

米澤 県ドクターヘリは23年度早期に運行予定、飛来時間を考慮すると、津和野は山口県との相互応援協定が最適。県に強く要請してはどうか。

町長 中国知事会で5県連携の方向で検討を確認。

米澤 町民の安心の一つ、ヘリポートを津和野共存病院下の駐車場へ設置しては。

町長 搬送時間を考慮すれば好位置好条件である、周辺の状況調査後検討する。

◎叙勲等受章者への祝電等

米澤 複数の受章者から他機関からは祝電有、町からは無、長年の善行等の結果である。祝電を贈ってはどうか。

町長 今まで通り広報で対応。

◎消防センターのトイレ

米澤 現在建設中の日原消防センターのトイレを温水洗浄便座に出来ないか。

町長 改めて検討、時代に即して対応、広域組合と相談。

集落計画の策定と支援策が急がれる



沖田 守 議員

沖田 急激な過疎、超少子高齢化が進行する中で、来年度以後の特に急ぐ重点施策と予算措置について問う。

町長 町内102の自治会を対象に地域課題等概要調査を職員91名体制で実施した。多くの自治会が、今後の不安や課題を抱えており、行政への支援については、町職員の積極的な地域活動への参加や活動費の助成、住民の意識啓発、人材の育成、他自治会との連携を必要とされている。

国勢調査等の結果も踏まえ急激な過疎・高齢化の進行に対する施策の展開は、喫緊の課題である。

この様な状況の中、年明けには、協働による町づくりを推進するため、自治会や住民活動団体、町内企業の方々と構成する住民と行政の協働プロジェクト推進会議を設置し、すでに実施した諸調査の結果を踏まえた地域課題の解決策を検討する。

予算措置については、昨年に引き続き県の中山間地域活性化支援事業を活用し、推進会議の開催、町民意識調査の実施、事業概要書の発行の予算化を計画している。

沖田 崩壊寸前の集落再編についての策、各集落計画への支援策について問う。

町長 これまでの調査結果に基づき、新たなコミュニティ組織として、各小学校区8地区単位で町づくり委員会を設置して町づくりを推進する役割を担って頂く。地域課題を解決するための支援策として地域提案型助成事業の創設を予定している。これは町づくり委員会を助成団体として位置づけ、地区内の特色を生かした活動や地域の課題を解決するための方策等を策定した事業計画に対し、毎年100万円を上限として助成制度を検討している。合わせて職員が地域担当制を導入して、人的支援を検討している。

一般質問

働ける職場を



村 上 英 喜 議員

◎企業誘致問題

村上 キーレックスが、撤退するとの情報が流れ、町民は不安に感じているが、今後の対策は。

町長 キーレックスは、本町に立地して以来30年以上の間、本町の雇用と経済を支えて頂きましたが、残念ながら24年をもって工場閉鎖の方針を出された。自動車会社マツダの営業、生産体制の方針により、生産を防府及び広島への集約化を余儀なくされ、閉鎖を苦渋の思いで決定されたと言明を受けた。本町としては、県の協力も頂き、引き続き工場継続を働きかけていく。

村上 NPO夢の泉舎が、本町で事業を展開したいと、藤原理事長が来られ、具体的な説明があったが、その後どのようになったのか。

町長 指摘のとおり旧青野山荘を利用し、福祉関連施設の

開設について検討した経過がある。農水省との協議を行ったが、制度上困難であり補助制度なしでは難しく、施設の開設は困難であると、昨年5月の協議で結論に至った。

村上 今後の企業誘致は、プロジェクトを立ち上げ、津和野に合った企業誘致の計画を立て、長期的に対策をとる必要があると考えるが。

町長 早急に推進体制を構築し、県企業立地担当部局と連携を図りながら、都市部企業との情報等を蓄積して、営業課を中心に地道な取り組みを一つ一つ積み上げていく。

◎定住対策

村上 若者が定住するには、若者向けの住宅が必要と考えるが、空き家利用として教職員住宅を改築したらどうか。

町長 指摘の住宅活用になると、県から施設譲渡を受ける必要があり、県と協議した上で検討する。

観光・建設・福祉・行政



後 山 幸 次 議員

◎SLの案内標識

後山 国民宿舎青野山荘にD51型蒸気機関車が日本国有鉄道から無償貸与を受け設置された。宿舎廃止となり駅前に移設されたが案内標識板は残されている。来年のSL運行に合わせ移設されたい。

町長 案内標識板は石材で造られ重厚な趣きも感じる。再利用には表面の研磨、修繕も施工が必要があり、経費面など含め検討したい。

◎鯉の放流

後山 殿町の掘割に昭和9年に吉永祐造様より放流されたのが始まりで、昭和51年12月に吉永様より鯉221匹、河田家具店様7匹、小原道夫様8匹を放流され、平成7年6月、小倉地区の広木理一郎様が53匹を放流。平成14年10月に高津川漁協より40匹寄贈、幼花園児が放流をした鯉も少なくなっているが放流計画を問う。

商工観光課長 鯉の寄贈も最近はなく減少している。放流自体

をイベント化し、各種事業等に合わせ実施したい。

◎森鷗外150周年記念事業

後山 森鷗外150周年記念事業として、神戸市灘区摩耶山掬星台キラキラ小路が夜光る蓄光石で舗装されている。鷗外通り（中島通り）、天文台付近にも実施される考えはないか。

商工観光課長 摩耶山掬星台の蓄光石舗装の件は色々な方向で検討したい。

◎町営住宅

後山 法心庵、鉄砲町住宅の解体と、新規住宅の建設計画は。
建設課長 今年度解体の計画にある。公営住宅は喫緊の課題で計画的な改善を図る。

◎医師問題

後山 益田日赤の産婦人科一人減になるが、津和野町の診療体制は、共存病院3階の療養病棟の再現を問う。

町長 産婦人科の診療体制は現状維持できる。療養病棟はスタッフを整えば、10床でも20床でも再開したい考えである。

一 般 質 問

農 業 振 興 と 定 住 対 策



岡 田 克 也 議員

◎公民館体制

岡田 町内どこに居住していても同じサービスが受けられるべきと考える。地域により相違のある公民館体制の統一について、昨年12月の一般質問後の対応を問う。

◎教育長

視察や会議を通じて、公民館の重要性を学習した。教育委員会としては原則、主事の常勤化を図りたいと考える。来年度から常勤主事を希望される公民館は常勤化を図る。

◎耕作放棄地対策

岡田 耕作放棄地は、景観を損ない、有害鳥獣の住み処になる。採算度外視で、第3セクターや法人、認定農業者等の方々が農地の維持管理を行っておられる。対策を問う。

◎町長

戸別保障制度だけでは耕作放棄地対策は困難であり、国の制度では不十分な場合、町単独でも対策を行う。

◎農産物を利用した商品開発とブランド化

岡田 首都圏等における農産物の販路拡大やブランド化の

推進、また物流のネックとなる送料の軽減について問う。

町長 全国のスーパーとの連携や首都圏の料理店のシェフへの食材の提供を行っている。また、広島の実業家による津和野産わさび海苔の全国販売の計画等がある。ブランド推進係が都市部との日頃からのネットワークの構築と交流を推進し、情報等を生産者に還元し、生産量の確保や品質の向上、ブランドの構築につなげる。物流業者との契約や同梱で送料の軽減を行う。

◎定住対策

岡田 定住対策における住宅整備について問う。

町長 仕事の確保と住宅の整備が重要である。使える家は補助制度等を利用して整備活用し、廃屋は更地にして活用したい。

岡田 医師や看護学校から住宅の必要性を伝え聞くがどうか。

町長 看護師を確保する上でも、住宅の整備を早急に行う。

行政処分を先にすべき

◎日原保育園プール事故



京 村 まゆみ 議員

京村 刑事事件として臨時保育士一人が起訴されたが、刑法の裁きとは別に、それ以前に設置者である町として関係者への行政処分をしないのはなぜか。

町長 まず町としての責任と努めを明確にし、ご遺族の一定のご理解を頂いた後に、行政処分を行いたいと考える。

京村 その後の保育現場について臨時やパート職員にも責任の重大さを伝えると同時に、保育方針や日々の情報の共有化、申し送りの徹底、施設遊具の点検等具体的改善は。

福祉事務所長 危機対応要領作成後、園長を中心に勉強会を持ち、現場の情報の共有化に努めている。施設遊具の点検も行っているが、休園中の施設等についても今後検討していく。

◎行政として問題への対応と処分のあり方

京村 町について良くない二

ユースがたて続けに報道されたが、報道機関への対応はどういう形でなされているか。町の懲戒審査委員会が審査される職員の範囲は。

町長 個別で対応しているが、独自の取材に基づいた記事についてはいかんともしがたい。懲戒審査委員会の審査対象は一般職の職員。

◎熟議のススメ

京村 文科省の推進する「熟議」とは、熟慮と討議を重ねながら政策形成する事で、立場の違いによる問題意識のギャップを縮小し問題解決を促進する効果が期待される。学校再編成計画を地区を越え公表し熟議することで、賛否のみでなく、より高い目的意識をもった学校再編への合意を促すと考えるが。

教育長 再編計画についてこのままの対応で進めたい。熟議は再編後についての議論を望む。

一般質問

日原商店街に休憩所設置を

◎休憩所設置

小松 商工会では、日原商店街に町民のために休憩所の設置を町に要望していると聞いている。場所についても選定済みで、休憩所としての改修費や維持管理費を町に支援してもらいたいという要望があり、休憩所は、商店街利用者や病院、開業医の患者さんたちにとって便利になるので、是非とも実現してもらいたい。また、4月からの町生活バス運行の改革に併せて、休憩所前にバス停留所を設けると更に利便性が向上するためバス停を設置し、単一施設での複合サービス提供の場として設置願いたい。

町長 現在、商工会では日原商工業振興会を中心に日原商店街への休憩所設置について検討が行われていることは承知している。この動きは、昨年度、商工会が国土交通省からの受託事業実施の結果、議論され始めたもので①各種まるごとサービスを

ワンストップで提供できる民間主導の窓口設置②町営バス、タクシー、デマンド・ワゴン等多機能交通システムの整備③点が課題として抽出された。

今後、運営費や体制を含む周辺環境が整備され、商店街や商工会の総意による要望へとまとまるならば、町としても積極的に支援したい。まや、町生活バスの停留所が設置できれば、休憩所はより効果的と思うので関係機関と折衝中である。

◎町民相談室設置

小松 町民の相談事に対応するため、役場各庁舎内に相談室を設置されたい。併せて、開発センター大ホールトイレの一部を洋式トイレに改修されたい。

町長 津和野庁舎には相談室を設けているが、他の庁舎はスペースが狭いため当面現行通りで願いたい。開発センターについては必要性を認識しているので財源の確保に努め改修を検討したい。



小松 洋司 議員

将来に向けたビジョンを示せ

◎津和野町の将来展望

川田 当町の将来を展望するとき、若者の存在は貴重である。学部単位でも大学の誘致を提案する。地域人口の増加や景気刺激、雇用拡大につながり、企業誘致並みの効果が得られるのではないかと。津和野高校存続を考えるのであれば、付属高校という利点も考えられる。教育と文化の町として、長期的な将来像を描くべきではないか。

また、政府において優遇税制が検討されている特定非営利法人（以下、NPO）は当町が抱える課題の解決に役立つ上、若者に雇用の場を与えることができる。当町の将来を考えたとき、NPOが活躍できる場は十分あると考えるが、町長の所見を聞く。

町長 若者定着の意義は認めるものの、大学誘致という方法については、本町の分を越えた事業として慎重にならざるを得ないと考えており、ご理解を頂きたい。なお、教育と文化の町としての将来像については、現在行っている津和野町教育ビジョンの策定を通して、津和野高校の今後とも視野に入れながら明確にしていきたいと考えている。

NPOは、ビジネスとしても採算性の問題から企業が参入できない社会問題や分野について解決に向けた事業を行う点において社会にとって非常に有益であり、そうした存在は本町にとっても町づくりの重要なパートナーになっている。津和野町のゼロ予算事業として活躍してもらええる団体であるから、どのような支援ができるか考えたい。

◎町営美術館等の利用者アンケート

川田 アンケート結果は。

教育長 安野光雅美術館で9割、桑原史成写真美術館で5割が「良い」と回答があった。



川田 大 剛 議員

一 般 質 問

T P Pに参加しないよう働きかけを！



竹内 悠希 議員

◎T P P

竹内 津和野町の基幹産業である農業にどのような影響があるか。また、町として反対の意向を示しているか。

町長 米90%1兆9700億円、茶25%300億円、蒟蒻芋90%300億円、小麦99%800億円、牛肉75%4500億円等の影響。県選出国会議員や関係機関、関係者にT P Pに参加しないよう働きかけをしている。

◎NHKラジオ第1・第2放送の受信困難解消

竹内 災害時の情報入手や受験勉強のための番組等、教育・教養番組が受信できるよう町民の要望が多いが、受信困難地域が多い。NHKへの働きかけをしているか。

町長 旧日原町時代に問い合わせたが、アンテナを増やす予定はないとのこと。その後の状況調査はしていない。日原地域では、今回更新された告知端末の機能を活用してNHKFM・FM山陰・NHKラジオ第1放送をケーブルテレビ

レビのラインを使ってFM波で再送信を行っている。NHK第2放送については要望を調査の上検討する必要がある。

◎子育て支援と「保育園の在り方」の検討

竹内 子育て支援センターは保育園とは別の建物に設けるべきではないか。また保育園の在り方について、どのような検討が行われているか。

町長 保育園児と子育て支援の来園児との交流ができること、同年令の子どもの集団でいろいろな経験ができ、親も子どもの発達について理解できるなど、保育園内への設置はメリットがある。「保育園の在り方」は、子どもの人数の減少に伴う就学前の施設の在り方、特色のある保育内容等の検討を行っており、統廃合も論議の対象になっている。

(その他の質問)
住宅リフォーム助成

二 つ の 疑 問



道信 俊昭 議員

◎チップボイラー

道信 石油を補完するエネルギー源の設備であることは承知しており、なごみの里に導入されることは大賛成である。ただ、入札に疑問がある。

設計業務の入札では落札者が480万円、次点が490万円、3位が500万円。

次に、建設業者の力を点数で表した「総合評定値」を1550点に設定したが、500点前後の町内の業者は参加すら不可。

規模と性能のほぼ同じ吉賀町のゆらら温泉は評定値は設けず誰でも参加できた。さらに、建設費はゆららが5250万円、なごみは7822万円である。

設計の入札金額、私には異常に高いと思われる総合評定値の説明を願いたい。

町長 入札審査会の内容は情報公開出来ない。
◎感染症外来施設

道信 3月26日、共存病院駐車場の一角を建設場所とする契約が結ばれた。ところが、駐車場が狭くなることに病院は遺憾の意を示し、町は場所の変更を余儀なくされた。業者は2か月間待機となった。

6月9日、木部公民館の敷地内が次の候補地となったが、土地の構造上無理があることを知るのに4か月近くかった。

9月28日、日原診療所前の空き地に決定したが、業者は半年間いくつかの仕事をキャンセルして待った。

町の100%のミスによる出来事に、町長は、口頭でも公式書面でも非を認めた。一方、9月29日に代理人契約をした町の弁護士は「ゼロ」回答を示唆した。町は損害賠償する意志があるのか。

町長 延期の責任は町にある。賠償する意志はある。

一般質問

有言実行・下森町政！



板垣 敬司 議員

◎施政方針

板垣 人材育成や行政評価制度の構築等を進められた中で、平成23年度における地域経済の活性化及び雇用対策・定住対策について、さらに定住自立促進計画に於ける最優先課題について問う。

町長 農林業の生産、販売体制の強化について、生産面は有害鳥獣対策について具体策を検討したい。販売体制については、津和野ブランド推進係を中心とした市場開拓、商品開発の支援・企業マッチング等を引き続き強力に推進したい。

わさび、里芋、栗、イノシシなどのブランド化と米粉を利用した商品開発や新しい冷凍技術である「印加冷結」で鮎、ツガニの周年出荷体制の確立を図りたい。

林業については、資産価値を上げるといふ観点で、山陰の地理や気象条件に適した強い作業道の開設や間伐に取り

組み、水資源の確保の観点からも森林整備を進めていきたい。

商工観光業について、特色ある農産物の地元消費を促す「地産地消」の拡大を図るため、食に関する条例の制定を検討した。鷗外生誕150周年を契機に、新しい津和野の魅力づくりや山口市と連携してSLの企画や存続運動等展開したい。

雇用・定住対策については、誘致企業の撤退については、島根県をはじめ、関係機関と連携を図りながら、工場継続を働きかけていきたい。定住については、中学校卒業までの医療費無料化で子育て負担の軽減や、医療体制の堅持に全力で取り組んでいるが、保育園や学校の環境整備、特色ある津和野の教育ビジョン等早急に策定したい。

(その他の質問)
※税・使用料等自主財源の確保

仕事は他人事ではない



青木 克弥 議員

◎町民の要望に対する取り組み

青木 町民から役場に対して様々な要求や要望が出されている。しかし、それらの対応について町民の多くから不満の声が寄せられている。次のことについて問う。

1. 要求や要望は具体的にどの様に処理されているか。
2. 統轄しているのはどこで、案件ごとにどの様に整理されているか。
3. 案件ごとの現場確認はどの様に実施されているか。
4. 未解決の案件に対する、解決のための計画策定はされているか。

町長 処理については、原則総務財政課で日程調整をし、町長、副町長、担当課長で直接受け、担当課および営業課で取りまとめ、庁議に図り文書で整理している。統轄は営業課である。現場確認は担当課で行い、文書で報告している。未解決案件に対する計画

策定については、具体的な事例を伺っていないので、質問を受けて答える。

◎農林業対策

青木 国の農政は混沌としている現状にあるからこそ、今から町独自の農林業対策を創造すべきと考える。

1. 現況の中で、町独自の農林業対策をどの様に考えているか。
2. 「里地里山法」の対応についての見解を問う。

町長 国、県の事業を活用しながら、水田農業の安定化を図るため、認定農業者や、農事組合法人への土地の集積を促進する。農産物のブランド化を図り、地産地消を推進すると共に販路の拡大をする。「里地里山法」については、今国会で成立したものであるが、国からの詳細が示されていないので、現状では農林業対策の充実を図る上で、どの様に活用するのかを検討することができない。

新水道料金表

・合併時の協定で23年度から料金を統一することになりました。

基本料金		
区分		金額
量水器口径	13mm	840円
	20mm	1,260円
	25mm	2,625円
	30mm	3,150円
	40mm	4,725円
	50mm	7,350円
	75mm	9,975円

従量料金		
区分		1㎡ごとに
1㎡から10㎡まで		94.5円
11㎡から20㎡まで		136.5円
21㎡から30㎡まで		178.5円
31㎡から50㎡まで		189.0円
51㎡以上		210.0円

臨時用 1㎡当り 210円

請願

■木曾野向線町道の舗装工事に関する請願

☆提出者 中組自治会

会長 朱山 昇

☆紹介議員 斎藤和巳

中組地区内にある、町道木曾野向線全長1500m、幅員4mの内、未舗装道路1300mの舗装を求める請願。
(経済常任委員会に付託)

■医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願

☆提出者 島根県保険医協会

会長 古沢 正治

☆紹介議員 竹内志津子・沖田 守

全世代にわたる医療費の窓口負担軽減の意見書を採択し、国並びに医療関係機関に提出することを求める請願。

意見書

■TTP交渉参加反対に関する意見書

食料安全保障と両立できないTTP交渉への参加を行わないよう強く求める。

※国の関係機関に送付した。

■医療費の窓口負担軽減に関する意見書

※国の関係機関に送付した。

組合議会報告

一部事務組合の定例会が開かれ、平成21年度の決算認定を行いました。



平成21年度 決算状況

(単位：千円)

組合名及び会計	歳入総額	歳出総額	差引残高
益田地区広域市町村圏事務組合会計	1,793,852	1,779,218	14,634
益田地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計	3,157	2,552	604
鹿足郡環境衛生組合一般会計	159,064	153,794	5,270
鹿足郡不燃物処理組合一般会計	142,955	138,532	4,423
鹿足郡養護老人ホーム組合一般会計	143,390	139,116	4,274
鹿足郡養護老人ホーム組合 外部サービス利用型特定施設事業特別会計	53,918	51,617	2,301
鹿足郡養護老人ホーム組合 訪問看護事業特別会計	40,856	34,932	5,924

所管事務調査報告

【総務常任委員会】

「歳入強化における町有施設の使用料等について」

- ① 観光リフト、津和野城跡石垣崩落による応急処置の現状と登山道周辺の環境調査。

- ② 各教育文化施設、各展示企画、管理状況について調査。

《調査意見》

教育文化の向上を主な目的として設置したものであるが、一方では観光施設としても期待するものである。

近年の観光客、入館者数の動態をみたとき、今後とも教育文化の拠点として運営するか、観光施設として位置づけるか。維持管理費として一般財源からの支出が増えることになれば、町民の理解が不可欠である。民間委託や業務の一部に指定管理者制度の導入等、財政事情を鑑みながら慎重に判断しなければならぬ時期にきている。

【文教常任委員会】

「地域医療、福祉の現況について」

つづ

- ① 橘井堂における看護師及び介護関係者の現状と問題点

○職員の高齢化。

○看護師不足の中で当直、夜勤を含め陣容のローテーションに苦慮している。職員の疲労度が心配される。

○ストレスを多く受ける現場での対応が十分とはいえない。

看護師等の増員対策

○募集は、総合メディカル、益田・山口のハローワークへの対応と各関係施設を訪問し要請活動を展開している。

○地域枠推薦等を利用しながら、修学資金制度の活用を推進している。

○現場での教育制度を強化し准看護師から正看護師への資格向上に取り組んでいる。

○町を中心にして関係機関、関係職員の連携を強化する中で情報の一元化を図る。

- ② 町社会福祉協議会の現状と介護保険事業における問題点

○介護保険事業の需要が増大し組織的な対応が遅れている。

○介護認定における認知結果決定が遅く、現場での対応に支障をきたしている。

たしている。

○職員の精神的な健康管理に常に対応する体制が必要。

○独居者の増加と介護者の高齢化に対する対応が急がれる。

○居宅介護支援事業所の休止に伴う対策が必要。

《調査意見》

○益田圏域の中で、橘井堂の役割は大きい。

○医療従事者はもとより医師、看護師の獲得に一層の対応が必要である。

○医療関係者の居住環境、特に単身者用住宅の整備が急務。

○現況の施設の活用について検討するべきである。

○各施設の修繕を含む計画策定をすべきである。

○介護認定審査における事務の見直しをする必要がある。

○関係機関の連携の強化。

○関係者、住民が一堂に会し、医療・福祉の現状についての話し合いを実施すべきである。

○編集委員

村上 英喜 米澤 若文
京村まゆみ 岡田 克也
三浦 英治 川田 剛

■編集後記

昨秋、隠岐の海士町長に講演をして頂いた。人口2千人の島へ5年程で200人の移住者を迎えたという。実に人口の1割増である。わが町は残念ながら全く逆、県内最悪の人口減少率だ。以前定住対策の話し合いで、ある方が「よそから連れてくる前に地元の若者をいかに残すかだ」と言われた。

海士町へ移住する若者達は仕事があるから来る？のてなく自分の力を発揮するステージを求めて来るのだという。

「仕事があれば帰りたい」と幾人かがコメントした町の成人式。我が子に「帰れ、残れ」と言つには「仕事がない」の呪文から大人が解放され、帰れる環境作りの労を背負う覚悟を持たねばならない。

後継者不足に嘆く農地や山を見れば「ない」のは仕事ではなく、創意工夫を応援し支える大人の熱意。そして夢を語る後姿。

京村 まゆみ